



琵琶湖にまつわるエトセトラ

MML

onthly other lake

プロガイド・おくむらさとしが
琵琶湖の釣果情報、必須ルアー
そして旬の話題などなど、気になる
情報満載で毎月お届けします。
これさえ読めば、琵琶湖で
ポーズの心配はナン！ ぜひ一読を。
おくむらさとし=報告



今月のひまわり

もう3月後半、いよいよ春がやって来たと言っても過言ではないシーズンの到来ですね。ですが、春の安定感を求めるなら、やっぱり、4月15日以降くらいがベストだと思えます。なんだかんだで寒の戻りが4月上旬まであるので、そのタイミングに当たってしまうと、いくら琵琶湖南湖といえど、簡単には釣れなくなってしまいますよ。ちなみに、GWまでは防寒着が必要になる日があるので注意してくださいね。

春が来た！ ということは、琵琶湖南湖に訪れるアングラーがMAX級に増える時期がやってきた、ということでもあるのです。4月から5月にかけてが、一年を通じて一番多くのアングラーが琵琶湖南湖にやって来る時期です。特に週末となれば、レンタルボート屋さんのボートはすべて出払い、ボクたちガイド屋にも



いよいよ、待ちに待った春が到来。ということは、南湖に来るアングラーがMAX級に増える時期。例年のようなマナー違反によるトラブルが、今年は起きなければいいのですが…



操船時と釣りをしているときは、距離感がまったく異なります。またほかのボートのそばで釣りをするときには「声掛け」。この2つを頭に入れておけば、トラブルは防げますよ

連日のようにゲストさんがお越しになります。おそらくオカッパリでも、すごい人出となるのでしょうかね。

しかも、それだけたくさんアングラーが押し寄せ、ほぼすべての方が水深3m以浅を集中的に狙います。スポーニングの時期だから仕方ないのですが、とにかくミドルからシャローレンジにアングラーが大集結するのです。そんな状態になると、実は少々厄介なことが起こります。

まずは、ボート操船によるトラブルやマナー違反です。釣りをしているボートのすぐ横を走り抜けて行くボートが現れたり、釣りをしている他のボートの真横で釣りをしはじめると、現れたり、などなど、危険を感じたりイライラを感じたりすることが多発するのです。春の琵琶湖南湖でボートで

アングラーの増加で懸念される湖上のトラブルとマナーの話。

釣りをされた方は、一度や二度は経験されているはずですが、

というわけで、自分が「加害者」にならないためにも覚えておいていただきたいことがあります。まずはボートを走らせるのですが、座った状態（操船時）の目線と立った状態（釣りをしていない時）の目線と他のボートを見たときには、座った状態のほうが「遠くに見える」ということです。つまり、操船時に「遠い」と感じていても、釣りをしている方には「近い」と感じてしまうことがあるので、座った状態の上から遠く離れて航行することがベストです。そして「貴方を回避してしまえ」と相手を感じる航路を選んで操船することもいい方法です。続いては他のボートの横で釣りを

必釣のアイテム!

巻き物の抑えに持っておきたい「ジャコビー・ブルーラッシュ」

いよいよジャコビーの季節がやってきました！ 3m以浅でのサスペンドミノーやスイミングジグ、バイブレーションやスピナーベイトが効果的なシーズンではありますが、日によってはそれだけで押し切ると「やらかしてしまう」可能性が… そういふときのためにもジャコビー&1/16ozジグヘッドのご用意をお忘れなく！ ちなみに今春は新色「ブルーラッシュ」が激ハマリでございます。



基本的には巻き物がハマる時期ではあるのですが、それだけでは心もとない。というわけで、持っておきましょう、ジャコビーのブルーラッシュ。きっと助けてくれますから！



するときですが、これの対処法はズバリ！ 「声掛け」です。「ここで釣らせていただいていたいいですか？」この一言ですべてが解決すると思えますよ。その一言への相手の返答っぷりを見て、どうすればいいのかを判断すればいいだけですからね。もちろん「どうぞ」の返答があれば「ありがと」をお忘れなく。ちなみにほかの場合は、「いいですか？」と聞かれれば、100%「OK」ですよ。たまに素知らぬ顔をしてジリジリ近づきながら、どこまで近づいたら怒られるか、みたいな感じで釣りをされる方を見かけますが、そういう方は「NG」ですね。なんだかんだで今回は釣りの話はまったくありませんでしたが、釣りに関しては大事なことがあったので、いろいろと煩わしいことを書かせていただきました。くれぐれも春の琵琶湖南湖で事故のないように、そして、気持ちよく釣りができるように、みんなで気を使いあいましょう。